四国森林管理局 森林技術・支援センター

次世代につなげる森林づくり

NO.２３号

平成 28 年 4 月 11 日

◆平成二十八年度、森林技術・支援センターが取り組む課題等について

◆四国局管内では、ほぼ全域でシカ被害が広がる中での「再造林の低コスト化」が大きな課題になっていることから、平成二十八年度の技術開発テーマを「シカ被害地での再造林の目指す姿に向けた技術開発の取組」（左図←）とし、民・国事業に普及できる成果の早期開発に取り組むこととします。

シカ被害地での再造林の目指す姿に向けた技術開発の取組

●個体数調整　①本課題(27～28年度)「小型囲いわなによるシカ誘因・捕獲の向上と普及の推進」
②本課題(28年度新規)「再造林地でのシカ捕獲の影響及び簡易な防護対策を使用できる条件の検証」

●施業方法等　③本課題(25～28年度)「下刈省力化によるシカ食害低減効果の検証」
④本課題(18～31年度)「保育作業の省力化による森林育成技術の確立」
⑤-1 本課題(26～28年度)「エリートツリー植栽による下刈り省力化試験」

●苗木防護　⑤-2 本課題(26～28年度)「シカ食害防止クリップの効果の検証」
⑥本課題(27～29年度)「竹を利用したシカ害対策について」

＋

●一貫作業システム等による低コスト施業確立に向けた取組

・H28年度から導入予定の一括発注及びエリートツリーコンテナ苗試験植栽のデータ収集・分析
・自主課題「植栽方法別(コンテナ苗等)造林試験」「植栽本数別試験」等の継続

★二十八年度「森林技術・支援センター」の職員を紹介します。

☆所長・山﨑 忠男
二年目に入ります。

☆副所長・池上 永一
三年目に入ります。

☆企画官・那須 悟
諸々キャリアは古参！新任ですがよろしくお願いします。

☆業務係長・芹口 竜一
早くも三年目となります。

☆森林技術員・森 孝幸
現役最後となりました。

☆企画係長・原﨑 万実子
育児休業継続中です。

☆行政専門員（再任用）隅田 雄一
三年目です。よろしく。

以上、二十八年度も、暑さ寒さ現地調査でのイレギュラー職員を紹介しました。皆様方のご協力ご支援ご理解ご協力のお願いします。

※情報の提供を！

◆新たな技術開発に向けた、ご意見・情報をお寄せ下さい。よろしくお願いします。